

アラウンド GOGO 55

ゲンから元氣をもらおう毎日

坂戸千明

など案内してくれまですし、散歩しているお年寄りの方とも挨拶を交わすようになりました。

「お父さん、ゲンが待って

るよ」妻からの催促の音が響く。朝の5時、まだ薄暗いなかを布団から這い出し、寝起きの眠い目をこすりながら、柴犬のゲンと散歩に出かけます。最近めつきり寒くなったものの、ゲンは元氣そのもの。一歳半になるゲンは、やんちゃな雄犬で、「元氣」の一文字をとって娘が命名。ちなみに長男の名前は憲。紛らわしい呼び名に「父さん、僕のこと呼んだ？」と息子から指摘されることもしばしば。

この1年ほど毎朝20分ほど



の散歩は欠かしません。土日にいたっては3〜4回散歩をすることもあり、1時間から2時間はゆつくりとつきあいます。近所の方からも「よく散歩してますね」と声をかけ

られるようになりました。

*

ゲンは朝の散歩が待ち遠しいらしく、玄関先でちょこんと座って主人のお出ましを待っています。主導権はゲンにあり、主人が引つ張ってコースを決めることはしません（教室の実践も同様に主人公は生徒です）。いつも後をとぼとぼついて行くことにしています。朝の散歩コースは団地方面、昼・夕方のコースは住宅街と自己選択しています。ちゃんと使い分けているところがいい。知らなかった路地裏

ゲンは主人に似て少し血の

*

気が多いのでしょうか、よく吠えます。前方から犬がやってくる伏せの姿勢をとって激しく吠えたます。吠える対象は犬ばかりではなく、電車が通過する音や新聞配達の方がきても同様です。「もっと激しいしつけが必要だよ」と弟は指摘します。でも、他愛ないかわりのなかで心が癒され、一日の活力が生まれてきます。（全障研長野支部）
*「アラウンド55」は、50代の会員が、近況やいまの思いを自由に綴るエッセイのコーナーです。